

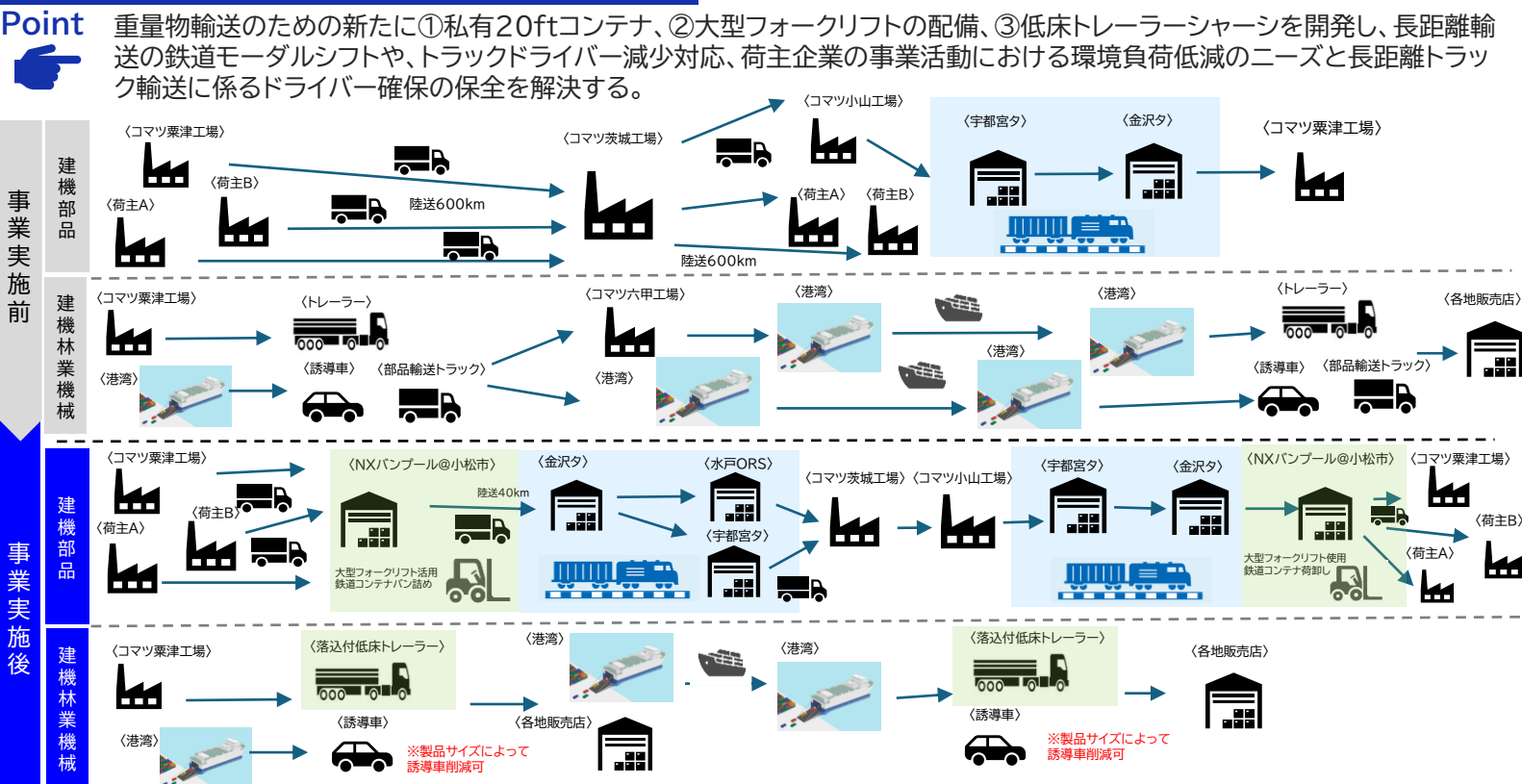
建設・林業機械製品の物流生産性向上

協議会名:コマツNXモダルシフト協議会

協議会構成員
石川県、株式会社小松製作所、コマツ物流株式会社、
日本通運株式会社、日本貨物鉄道株式会社

【事業実施背景】
本事業が対象とする一部の製品は長距離輸送に関しては、内航船やJRコンテナを活用しモーダルシフトを図っていたが、納期・輸送コスト等の課題があった。納期・輸送コストともに満足するため、設備投資を実施し、課題解決を図る。

事業内容



想定事業実施効果

【①石川県小松市と茨城県ひたちなか市、栃木県小山市の輸送を10トントラックによる直送から、私有コンテナを活用した鉄道輸送利用にモーダルシフト

- ・輸送CO₂ 727t → 261t /年 **36%削減**
- ・トラックドライバー延べ運送時間の削減量 **44%削減** ※鉄道運送時間は除外

②石川県小松市、全国各地港湾から全国各地への販売店、港湾への輸送において、低床トレーラーシャーシ※aを導入し、10トントラックによる分解製品の輸送、トレーラー輸送に関わる誘導車を削減する】

- ・輸送CO₂ 435t → 285t /年 **34%削減**
- ・トラックドライバー延べ運送時間の削減量 **67%削減** ※誘導車、トラックドライバー削減を想定

※a 建設機械、大型製品を輸送するための荷台が低い車種

【地域産業の目指す姿・目標】
日本国内の労働人口の減少に伴い、輸送に従事する人口も減少しています。積極的な設備投資を実施し、輸送ドライバー不足への対応、地球温暖化対策を進めていく。
更には輸送課題を解決することで、建設、農林業の現場で最先端機械を利用していただけ機会が増加し、石川県のみならず、日本国内の建設現場や第一次産業の生産性にも貢献し、産業競争力強化、災害リスク(河川、土砂災害)への対応も兼ねた取り組みとなります。